

2016年度(平成28年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(27)番 福山市立 駅家南 中学校

1 授業の現状

- ・教師が一方的に教え込み、生徒は静かに板書を写すところ、習得させた知識を活用して、設定した課題を解決する意識して授業に取り入れようと試行錯誤している。
- ・班を活用して学習の定着が図れる取組を行っている。

転換

2 目指す授業の姿

- ・しっかり教えることで知識を習得させ、習得した知識を活用し発表できる授業
- ・単元を通してつける力を明確にした授業
- ・ペア・グループを活用した「学び合い」「教え合い」がで

3 目指す授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況 (生徒による授業アンケートより)	9月からの取組	12月末の状況 (生徒による授業アンケートより)	1月からの取組	2月末の状況 (教員アンケートより)
○振り返りが明確にできるねらいを設定し、振り返りを書く時間や確認テストを行う時間を設ける。 ○ペア・グループ学習を1時間の授業の中に1回は入れる。	・授業の振り返りを書いています。確認テストをしていますと答えた生徒の割合(77.7%) ・ペア・グループ活動を活用した授業はよくわかりますと答えた生徒の割合(82.7%)	○振り返りが明確にできるねらいを設定し、振り返りを書く時間や確認テストを行う時間を設ける。 ○ペア・グループ学習をねらいに迫る場面で意図的に位置付ける。	・授業の振り返りを書いています。確認テストをしていますと答えた生徒の割合(82.3%) ・ペア・グループ活動を活用した授業はよくわかりますと答えた生徒の割合(89.6%)	○本時のねらいを明確にし、ねらいを達成するためのペア・グループ活動の充実を図る。 ○生徒の学びを深める授業づくりについて教員の研修を行う。	・ねらいを明確にして授業を構成していると答えた割合(95%) ・ペア・グループ活動を活用し授業を進めていると答えた割合(95%) ・授業改善に向けた協同学習の理論研修と、道徳の教科化に向けた指導の充実についての理論研修を行った。

4 取組の結果 数値は2016年(H28年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A 問題	B 問題
国語	72.0(-4.6)	61.9(-6.0)
数学	50.7(-11.4)	37.3(-7.5)
理科		

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語	71.7(-0.1)	58.1(-2.5)
数学	66.5(-3.1)	54.4(-1.9)
理科	54.6(+0.2)	43.2(-5.1)
英語	68.0(-4.6)	56.6(+3.6)

体力・運動能力調査 (網掛は県平均以上)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ
1年	25.80	27.07	44.80	53.51	432.28	8.40	190.19	18.36	1年	20.78	21.67	51.29	47.10	299.51	8.71	167.10	13.75
2年	30.91	30.19	49.78	56.34	402.24	7.91	200.53	20.67	2年	23.95	22.21	50.90	48.69	288.52	8.52	170.00	14.14
3年	35.07	29.57	50.21	58.84	365.66	7.29	218.30	25.36	3年	26.96	23.52	55.16	49.87	300.48	8.50	179.76	14.58

* 空欄には、20m シャトルランか持久走のいずれかを記入

「基礎・基本」定着状況調査 〈生徒質問紙調査〉(%)

内 容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	31.7	43.9	41.7	30.9	23.7	30.9	28.1	25.2
学校が楽しい	84.2							

小中一貫教育に係るアンケート[対象:授業者] (%)

(3)月実施

内 容	よく当てはまる	当てはまる
仕事に意義とやりがいを感じている	15.0	35.0
日々の仕事に充実感がある	5.3	42.1